

令和

7

年度入学用

# 入学者選抜に 関する要項

## インターネット出願の導入について

愛知県立芸術大学では、今年度より、学部入試にてインターネット出願を導入します。

詳細については、今後公表予定の各学生募集要項を確認してください。

なお、インターネット出願の導入に伴い、冊子体での学生募集要項の配布は行いませんので、本学ウェブサイト「入試情報」から閲覧又はダウンロードしてください。（3ページ「7 各募集要項の公表時期等」を参照）

愛知県立芸術大学ウェブサイト「入試情報」

URL <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/admission/>



## ●美術学部のアドミッション・ポリシー

美術学部では基礎的な実技能力を持ち、美術に対する豊かな感性と旺盛な表現意欲のある人、広い視野に立った芸術活動や研究活動、創作表現を目指すことができる人を求めています。芸術家、デザイナー、研究者、教育者など美術全般で専門性の高い人材を育成、輩出するために、専攻が独自のアドミッションポリシーを制定しています。

### 求める人物像

- ・美術に関心を持ち、本学の美術教育に必要な基礎知識や技能を有する人
- ・美術に対する豊かな感性をもち、将来幅広い視野に立った芸術・研究活動を目指す意欲を持つ人
- ・広い視野と多様な価値観を持ち、自ら積極的に学ぶことのできる人

### 入学者選抜試験の基本方針

- ・各専攻の特性に応じた選抜方法により専門分野の基本的な実技能力を、また一般選抜においては大学入学共通テストの結果を総合して可否を判定します。

## ◆日本画専攻

### 求める人物像

- ・自分の可能性を信じ、自分の考える絵画（日本画）表現の目標に向かって高い意欲を持って取り組める人
- ・芸術家として自己表現を目指す人
- ・新たな発想力と表現力を身につけ、社会で活かしたいと思っている人

### 入学前に身につけてほしい学習成果

- ・基礎的な観察力と描写力
- ・基礎的な色彩による表現力
- ・基礎的な絵画構成力と絵画表現力

### 入学試験の基本的な方針・考え方

受験生が意欲を持って受験しやすい環境を整えるとともに、基礎的な観察力及び描写力、表現力、絵画構成力を問う入学試験を実施します。

#### 【一般選抜】

- ・一次試験では、大学入学共通テストの得点及び石膏素描による実技試験の得点の合算により可否を判定します。
- ・二次試験では、水彩画による実技試験の得点によって、最終合格判定を行います。  
なお、大学入学共通テスト及び一次試験の得点は二次試験には加算されません。
- ・合否ラインで総合得点が並んだ場合に、調査書・活動報告および志願理由書を活用します。

#### 【総合型選抜】

- ・自己アピール資料審査、提出作品審査(平面作品)及び面接試験により可否を判定します。  
※実技試験、学力試験は行いません。

## ◆油画専攻

### 求める人物像

- ・美術・絵画に強い関心と探究心をもっている人
- ・美術・絵画に関する基礎的な表現力があり、大学においてさらに表現力を深めようと志す人
- ・芸術家として自己実現を目指す人

### 入学前に身につけてほしい学習成果

- ・基礎的な描写力（デッサン）
- ・絵画表現力（油画・水彩画）
- ・豊かな創造力と絵画表現を試みる力

### 入学試験の基本的な方針・考え方

受験生が能力を最大限発揮できるよう試験問題、試験時間、制作作品のサイズなどを工夫した入学試験を実施します。

#### 【一般選抜】

- ・一次試験では、大学入学共通テストの得点及び素描による実技試験の得点の合算により可否を判定します。
- ・二次試験では、油画または水彩画による実技試験の得点によって、最終合格判定を行います。  
なお、大学入学共通テスト及び一次試験の得点は二次試験には加算されません。
- ・合否ラインで総合得点が並んだ場合に、調査書・活動報告および志願理由書を活用します。

## ◆彫刻専攻

### 求める人物像

- ・広範な立体表現に深い関心を持ち、芸術家を志す人
- ・創造のよろこびを実感し、粘り強く取り組める人
- ・多様な価値観に目を向け、様々な文化芸術に興味を持つ人
- ・独自の発想力と表現力を身につけ、社会で活かしていきたい人

### 入学前に身につけてほしい学習成果

- ・基礎的な描写力・造形力
- ・豊かな想像力

### 入学試験の基本的な方針・考え方

ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、基礎的な想像力・技術力を判定する試験を行います。

#### 【一般選抜】

- ・大学入学共通テストの得点及び素描、塑造の実技試験の得点の合算により合否を判定します。
- ・合否ラインで総合得点が並んだ場合に、調査書・活動報告および志願理由書を活用します。

#### 【総合型選抜】

- ・自己アピール資料審査、小論文及び面接試験により合否を判定します。

## ◆芸術学専攻

### 求める人物像

- ・美術作品の鑑賞や研究、展覧会の企画などに強い関心のある人
- ・美術史、現代アート論、美学、文化財学等に関心の高い人
- ・柔軟な感性と論理的な思考力を持ち、語学力にも優れている人

### 入学前に身につけてほしい学習成果

- ・英語に関する基礎的な語学力
- ・基礎的な論述能力
- ・美術作品についての基礎的な観察力、鑑賞眼

### 入学試験の基本的な方針・考え方

受験生の学力や感性、適性や意欲が十分に評価できるような入学試験を実施します。

#### 【一般選抜】

- ・大学入学共通テストの得点及び英語、小論文、素描の得点の合算により合否を判定します。
- ・合否ラインで総合得点が並んだ場合に、調査書・活動報告および志願理由書を活用します。

## ◆デザイン専攻

### 求める人物像

- ・日々の暮らしの様々なことに興味と好奇心がある人
- ・モノ作りや表現に強い関心があり、工夫が好きな人
- ・問題を発見し、解決する思考力と行動力がある人
- ・様々なものを受け入れる柔軟性がある人

### 入学前に身につけてほしい学習成果

- ・基礎的な描写力
- ・基礎的な色彩の構成員力
- ・基礎的な立体の構成員力

### 入学試験の基本的な方針・考え方

受験生が能力を最大限発揮できるように、受験生の特性を活かした様々な入学試験を実施します。また受験しやすい環境を整え、受験生の将来への可能性を高めます。

#### 【一般選抜】

- ・大学入学共通テストの得点及び描写と、色彩構成または立体構成による実技試験の得点の合算により合否を判定します。
- ・合否ラインで総合得点が並んだ場合に、調査書・活動報告および志願理由書を活用します。

#### 【総合型選抜】

- ・自己アピール資料審査及び面接試験により合否を判定します。  
※実技試験、学力試験は行いません。

#### 【社会人特別選抜】

- ・自己アピール資料審査と面接試験、小論文により、合否を判定します。※実技試験、学力試験は行いません。

### ◆陶磁専攻

#### 求める人物像

- ・暮らしに関わる工芸やデザインに関心があり、想像力豊かな人
- ・陶磁分野の可能性を探求し、創作意欲のある人

#### 入学前に身につけてほしい学習成果

- ・基礎的な描写力
- ・基礎的な色彩による表現力
- ・基礎的な造形力

#### 入学試験の基本的な方針・考え方

受験生が意欲を持って受験しやすい環境を整えるとともに、基礎的な観察力と表現力を問う入学試験を実施します。

#### 【一般選抜】

- ・大学入学共通テストの得点及び描写、色彩表現の実技試験の得点の合算により合否を判定します。
- ・合否ラインで総合得点が並んだ場合に、調査書・活動報告および志願理由書を活用します。

#### 【総合型選抜】

- ・自己アピール資料審査、実技試験（立体）及び面接試験により合否を判定します。

### ◆メディア映像専攻

#### 求める人物像

- ・メディア映像表現に強い関心と探究心をもっている人
- ・様々な芸術に強い関心があり、新しい表現を目指す人
- ・問題を発見し、柔軟に解決する思考力と行動力がある人

#### 入学前に身につけてほしい学習成果

- ・基礎的なデッサン力
- ・基礎的な構図力
- ・豊かな創造力と表現を試みようとする発想力

#### 入学試験の基本的な方針・考え方

受験生が能力を最大限発揮できるように、試験問題、試験時間に配慮し受験しやすい環境を整えます。

#### 【一般選抜】

- ・大学入学共通テストの得点及び描写、発想構成の実技試験の得点の合算により合否を判定します。
- ・合否ラインで総合得点が並んだ場合に、調査書・活動報告および志願理由書を活用します。

#### 【総合型選抜】

- ・自己アピール資料審査、実技試験（発想）及び面接試験により合否を判定します。

## ●美術学部のカリキュラム・ポリシー

美術学部では、ディプロマポリシーに掲げる目標を達成できるよう、学生の個性を尊重し、徹底した個別指導を基本とする実技系授業を実施しています。各領域の現状を踏まえ専門の特徴を尊重したカリキュラムを制定しています。実技系の授業等と合わせ、専門に関する理論、歴史、外国語、一般教養等、選択可能な科目から幅広く学ぶことができます。

### カリキュラムの編成方針

- ・美術学部では、実技授業を重点とする徹底した少人数教育を行います。
- ・専攻ごとのポリシーに則り、基礎から応用まで専門的に体系化された4年間の教育プログラムを提供します。

### 学修成果の評価について

各科目の学修成果は、それぞれシラバスに示された評価基準と方法で、公平に評価します。

## ●美術学部のディプロマ・ポリシー

美術学部では、各専攻で定める専門分野に関する知識・技能・社会的対応力、幅広い教養を身につけ、日本画、油画、彫刻、工芸、メディア、現代美術の芸術家、デザイナー、美術に関する研究者、教育者等、自立的な判断力に富み、創造的な能力に優れた人材の育成を目標としています。

### 学修成果目標

- ・自立した芸術家、デザイナー、研究者、教育者に必要な専門分野に関する知識・技能・社会的対応力、幅広い教養を身につけます。
- ・主体性をもって社会で活躍できる力を身につけます。

### 学位認定の方針、評価方法

- ・所定の期間在学し、最終年次における「卒業制作」、「卒業論文（芸術学）」を含めた所定の単位を修得した学生を卒業と認め、学士（芸術）の学位を与えます。

## ●音楽学部のアドミッション・ポリシー

音楽学部では音楽に対する感性が豊かで表現意欲が旺盛な人や、将来国内はもとより、国際的視野にたった幅広い芸術・研究活動を目指すような、明確な目的意識と強い気概をもった人を求めています。

### 求める人物像

- ・音楽に関心を持ち、本学の音楽教育に必要な実技の基礎能力を有する人
- ・音楽に対する豊かな感性をもち、将来幅広い視野に立った芸術・研究活動を目指すような意欲をもった人
- ・広い視野と多様な価値観を持ち、自ら積極的に学ぶことのできる人

### 入学者選抜試験の基本方針

- ・各専攻の特性に応じた選抜方法により実技試験、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）を、また一般選抜においては大学入学共通テストの結果を総合して可否を判定します。

## ◆作曲専攻（作曲）

### 求める人物像

- ・創作研究に対する、謙虚且つ積極的な姿勢を持っている人
- ・感性、知性、表現力、独創性、柔軟性、好奇心、国際性等を持っている人
- ・音楽の創作において必要な基礎的能力を身に付けている人

### 入学前に身につけてほしい学習成果

- ・基本的かつ十分な作曲能力。特に楽典に基づいた正しい楽譜の読み書きができること、自己の表現したいものを適切な技術で書き表すことができること、和声、対位法等の理論をある程度習得していること
- ・音楽の基礎的能力（楽典分析、ソルフェージュ、ピアノ実技等）
- ・西洋音楽史の素養、特にバロックから近代までの基本的な楽曲を網羅的に知っていること
- ・基礎的な学力、語学力（英語）

### 入学試験の基本的な方針・考え方

#### 【一般選抜】

- ・専門実技試験では、作曲家としての資質、技術、表現力をみます。受験者一人一人の作品を複数の審査員が様々な視点から個々に採点し、それらを集計した結果により評価を決定します。
- ・専門実技試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ）と大学入学共通テスト（外国語、他）の結果を総合して可否を判定します。

#### 【総合型選抜】

- ・提出物による審査（作品、音楽活動記録、調査書、他）の後、専攻実技試験、口述試験の結果を総合して可否を判定します。

## ◆作曲専攻（音楽学）

### 求める人物像

- ・音楽に対する知的好奇心をもっている人
- ・音楽を研究する上で必要な基礎的能力を備えている人
- ・芸術に対する豊かな感受性をもっている人

### 入学前に身につけてほしい学習成果

- ・音楽の基礎的能力（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）
- ・基礎的な学力、語学力
- ・論理的思考力および表現力

### 入学試験の基本的な方針・考え方

#### 【一般選抜】

- ・論理的思考力および表現力をみる論述・口述試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）と大学入学共通テスト（外国語、他）の結果を総合して可否を判定します。

#### 【学校推薦型選抜】

- ・音楽学の基礎的能力（英語力を試す出題を含む）、音楽の基礎的能力試験、口述試験の結果及び提出書類（音楽活動記録、調査書、他）を総合して可否を判定します。

## ◆声楽専攻

### 求める人物像

- ・豊かな感受性、想像力を備えている人
- ・演奏家としての資質を備えている人
- ・積極的に学び、音楽界、芸術教育界を将来担うべく意欲旺盛な人

### 入学前に身につけてほしい学習成果

- 専門実技能力…学ぶ上で大切にして欲しいことは、第一に自主的に学ぶ姿勢と、積極的に表現しようとする姿勢です。そして、各人の資質に応じた無理のない発声を身につけ、音楽と言葉に対する感性を磨くよう努力して下さい。
- 音楽の基礎的能力…基礎的な読譜力と、ピアノの演奏能力を身につけてきて下さい。また音楽についての知識を積極的に吸収するよう心がけて下さい。
- 基礎的な学力、語学力…歌詞を歌う声楽においては、日本語を含む語学力は必要不可欠なものです。加えて作品の背景を知る為にも、歴史や文学に関する基本的な知識を身につけて下さい。

### 入学試験の基本的な方針・考え方

#### 【一般選抜】

- ・専門実技試験では、演奏家としての資質、技術、表現力をみます。個々の受験者の演奏を複数の審査員が様々な視点から個々に採点し、それらを集計した結果により評価を決定します。
- ・専門実技試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）と大学入学共通テスト（外国語、他）の結果を総合して合否を判定します。

#### 【総合型選抜】

- ・書類選考（自己アピール文、音楽活動記録書、調査書）の後、本選考（専攻実技試験、面接試験、音楽の基礎的能力試験）の結果にて合否を判定します。

## ◆器楽専攻（ピアノ）

### 求める人物像

- ・視野を広く持ち、実力を伸ばすために精進できる人
- ・音楽への興味を持ち、ピアノ演奏を通して音楽芸術全般に積極的に関与したい人

### 入学前に身につけてほしい学習成果

- 基礎的な演奏表現能力（音楽に対する感受性、表現力、演奏技術、暗譜力、読譜力）  
日々の練習の際に心がけてほしい点（参考例）
  - ・音に対する感性を大切にしたい勉強
  - ・感じたことを表現しようとする姿勢
  - ・音階、アルペジオをはじめとする継続的な基礎技術の学習
  - ・できる限り多くの作品を勉強すること
  - ・様々なジャンルのクラシック音楽に親しむこと
- 音楽の基礎的能力（ソルフェージュと楽典の基礎）
- 基礎的な学力…外国語や一般教科の学習にもできる限り力を入れて下さい。

### 入学試験の基本的な方針・考え方

#### 【一般選抜】

- ・専門実技試験では、演奏家としての資質、技術、表現力をみます。受験者一人一人の独奏を複数の審査員が様々な視点から個々に採点し、それらを集計した結果により評価を決定します。
- ・専門実技試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、楽典）と大学入学共通テスト（外国語、他）の結果を総合して合否を判定します。



## ◆器楽専攻（弦楽器）

### 求める人物像

- ・演奏家としての資質と技術を備えている人
- ・将来音楽界、芸術教育界を担うべく意欲旺盛な人
- ・より高い技術やより深い音楽性を貪欲に求める人
- ・アンサンブルなど共同での演奏に関心のある人
- ・自然を愛し、豊かな感受性、想像力を備えている人

### 入学前に身につけてほしい学習成果

- 専門実技能力
  - ・音に対する感性を大切にした勉強
  - ・感じたことを表現しようとする姿勢
  - ・音階・練習曲等、基礎技術の学習
  - ・様々な時代様式の作品の勉強
- 音楽の基礎的能力（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）
- 基礎的な学力、語学力

### 入学試験の基本的な方針・考え方

#### 【一般選抜】

- ・専門実技試験では、演奏家としての資質、技術、表現力をみます。受験者一人一人の独奏を複数の審査員が様々な視点から個々に採点し、それらを集計した結果により評価を決定します。
- ・専門実技試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）と大学入学共通テスト（外国語、他）の結果を総合して合否を判定します。

#### 【学校推薦型選抜】

- ・専攻実技試験、音楽の基礎的能力試験、面接試験の結果及び提出書類（音楽活動記録、調査書、他）を総合して合否を判定します。

## ◆器楽専攻（管打楽器）

### 求める人物像

- ・豊かな感受性、想像力、表現意欲を備えている人
- ・人との関わりや思いやりを大切にし、協調性、適応能力に優れた人
- ・アンサンブルなど共同での演奏に関心のある人
- ・物事への積極性があり、国際的な視野を持っている人

### 入学前に身につけてほしい学習成果

- ・主要オーケストラ作品、室内楽など様々な作品に親しみ、知識を広げておくこと
- ・高いレベルの演奏表現能力
- ・音楽の基礎的能力（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）
- ・基礎的な学力、語学力

### 入学試験の基本的な方針・考え方

#### 【一般選抜】

- ・専門実技試験では、演奏家としての資質、技術、表現力をみます。受験者一人一人の独奏を複数の審査員が様々な視点から個々に採点し、それらを集計した結果により評価を決定します。
- ・専門実技試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）と大学入学共通テスト（外国語、他）の結果を総合して合否を判定します。

#### 【学校推薦型選抜】

- ・書類審査（音楽活動記録、調査書、他）及び録画による演奏審査の後、専攻実技試験、音楽の基礎的能力試験、面接試験の結果を総合して合否を判定します。

## ●音楽学部のカリキュラム・ポリシー

音楽学部では、ディプロマポリシーに掲げる目標を達成できるよう、学生の個性を伸ばすため、専門実技授業では4年間徹底した個人指導による教育を行います。

実技系の授業等とあわせ、音楽理論、外国語、一般教養等、選択可能な科目を幅広く学ぶことも出来ます。

### カリキュラムの編成方針

- ・専門の授業・レッスンでは、徹底した個人指導による教育を行います。
- ・専攻ごとのポリシーに則り、基礎から応用まで専門的に体系化された4年間のプログラムを提供します。
- ・専攻科目の他に、幅広い理論系の授業、外国語、一般教養等、選択可能な科目を幅広く履修することができます。

### 学修成果の評価について

- ・各科目の学修成果は、それぞれシラバスに示された評価基準と方法で、公平に評価します。

## ●音楽学部のディプロマ・ポリシー

音楽学部では、各専攻で定める専門分野に関する知識・技能・社会的対応力、幅広い教養を身につけた、国際的視野に立った、創造的に音楽に関わる優れた人材の育成を目標としています。

### 学修成果目標

- ・自立した音楽家・音楽関係者に必要な専門分野に関する知識・技能・社会的対応力、幅広い教養を身につけます。
- ・主体性をもって社会に活躍できる協働力を身につけます。

### 学位認定の方針、評価方法

- ・所定の期間在学し、最終年次における「卒業作品（作曲）」、「卒業論文（音楽学）」、「卒業演奏（実技系）」を含む所定の単位を修得した学生を卒業と認め、学士（芸術）の学位を授与します。

# 令和7年度 愛知県立芸術大学入学者選抜に関する要項

## 1 学部、学科、専攻及び募集人員

学部	学科	専攻 (コース)	定員	募集人員					
				一般選抜	総合型選抜	社会人特別選抜	学校推薦型選抜		
美術学部	美術科	日本画	10名	10名	(若干名)	/	/		
		油画	25名	25名					
		彫刻	10名	10名	(若干名)				
		芸術学	5名	5名					
	デザイン・工芸科	デザイン	25名	17名	8名			(若干名)	
		陶磁	10名	8名	2名				
		メディア映像	10名	8名	2名				
計			95名	95名					
音楽学部	音楽科	作曲	8名	8名	(若干名)	/	/		
		音楽学	2名	2名				(若干名)	
		声乐	30名	26名	4名				
		器楽	ピアノ	25名	25名				
		弦楽器	15名	12名				3名	
		管打楽器	20名	20名				(若干名)	
	計	100名	100名						
合計			195名	195名					

※ 美術学部の総合型選抜日本画専攻、彫刻専攻募集人員(若干名)、社会人特別選抜募集人員(若干名)、音楽学部の総合型選抜作曲専攻作曲コース募集人員(若干名)、学校推薦型選抜作曲専攻音楽学コース、器楽専攻管打楽器コース募集人員(若干名)は、一般選抜の募集人員に含まれます。

## 2 一般選抜

### (1) 出願資格

本学に出願できる者は、令和7年度大学入学共通テストにおいて本学の指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者とします。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者
- ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号)
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び令和7年3月31日までに合格見込みの者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの
- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの

(注) 出願資格⑧により出願しようとする者は、令和6年8月19日(月)までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。

(2) 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、個別学力検査等(専攻別実技試験等)及び調査書等により総合的に判定します。大学入学共通テストの受験を要する教科及び個別学力検査の教科等は、別紙1(P.4)、別紙2(P.5)のとおりです。個別学力検査等の試験日程及び試験科目は、別紙3(P.6)、別紙4(P.7)のとおりです。なお、本学においては、「大学入学共通テストの前年度成績」は利用しません。

(3) 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談

事前相談の時期、方法等については、募集要項を参照してください。

### 3 美術学部総合型選抜

美術学部美術科日本画専攻、彫刻専攻及びデザイン・工芸科デザイン専攻、陶磁専攻、メディア映像専攻において実施します。デザイン専攻においては、令和7年3月31日現在において、22歳以下の者を対象とします。大学入学共通テストを免除し、調査書、志願理由および自己推薦書、自己アピール資料による第1次選考後、面接、提出作品審査(日本画専攻のみ)、小論文(彫刻専攻のみ)及び実技試験(陶磁専攻、メディア映像専攻のみ)による第2次選考を行います。

出願資格詳細及び実施細目については、別紙5(P.8)を参照してください。

出願期間：令和6年10月24日(木)～令和6年10月30日(水) 締切日消印有効 選抜期日：令和6年11月23日(土)、令和6年11月24日(日) 第1次選考合格者のみ
---

※日本国外から出願する場合は、締切日午後5時必着とします。

※障がい等を有する等の入学志願者との事前相談

事前相談の時期、方法等については、募集要項を参照してください。

### 4 社会人特別選抜

美術学部デザイン・工芸科デザイン専攻において、令和7年3月31日現在において、社会人の経験を3年以上有する23歳以上の者を対象に実施し、大学入学共通テストを免除し、志願理由書、自己アピール資料による第1次選考後、小論文及び面接による第2次選考を行います。

実施細目については、別紙6(P.9)を参照してください。

出願期間：令和6年10月24日(木)～令和6年10月30日(水) 締切日消印有効 選抜期日：令和6年11月23日(土) 第1次選考合格者のみ
---

※日本国外から出願する場合は、締切日午後5時必着とします。

※障がい等を有する等の入学志願者との事前相談

事前相談の時期、方法等については、募集要項を参照してください。

### 5 学校推薦型選抜

音楽学部音楽科作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース、管打楽器コースにおいて、令和7年3月卒業等見込みの者で出身学校長が推薦したものを対象に実施します。大学入学共通テストを免除し、調査書、音楽活動記録書等による書類審査、実技試験及び、音楽に関する基礎的能力試験等を行います。

実施細目については、別紙7(P.10)を参照してください。

出願期間：令和6年10月24日(木)～令和6年10月30日(水) 締切日消印有効 選抜期日：令和6年11月23日(土)、令和6年11月24日(日) 管打楽器コースは書類選考合格者のみ
--

※日本国外から出願する場合は、締切日午後5時必着とします。

※障がい等を有する等の入学志願者との事前相談

事前相談の時期、方法等については、募集要項を参照してください。

## 6 音楽学部総合型選抜

音楽学部音楽科作曲専攻作曲コース及び声楽専攻において実施します。作曲専攻作曲コースにおいては、令和7年3月31日現在において35歳以下の者を対象とします。大学入学共通テストを免除し、調査書、音楽活動記録書等の提出書類と提出作品（作曲コースのみ）による書類選考後、実技試験、口述試験（作曲コースのみ）、面接試験及び音楽に関する基礎的能力試験（声楽専攻のみ）による本選考を行います。

実施細目については、別紙8(P.11)を参照してください。

出願期間：令和6年10月24日（木）～令和6年10月30日（水）締切日消印有効 選抜期日：令和6年11月23日（土）、令和6年11月24日（日）書類選考合格者のみ
--

※日本国外から出願する場合は、締切日午後5時必着とします。

※障がい等を有する等の入学志願者との事前相談

事前相談の時期、方法等については、募集要項を参照してください。

## 7 各募集要項の公表時期等

美術学部総合型選抜、社会人特別選抜、音楽学部学校推薦型選抜・総合型選抜の募集要項は7月下旬～8月上旬に、一般選抜の募集要項は10月上旬に公表予定です。

なお、インターネット出願の導入に伴い、冊子体での募集要項の配布は行いませんので、本学ウェブサイト「入試情報」から閲覧又はダウンロードしてください。

本学ウェブサイト「入試情報」

[URL、QRコード]

<https://www.aichi-fam-u.ac.jp/admission/>



## 8 受験に関する照会先

〒480-1194

愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114

愛知県立芸術大学 入試課

電話 0561-76-2603（直通）（照会時間は午前9時から午後5時まで）

メールアドレス [admission\\_pr@mail.aichi-fam-u.ac.jp](mailto:admission_pr@mail.aichi-fam-u.ac.jp)

ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除きます。

令和7年度 一般選抜の実施教科・科目等について(美術学部)

学部・学科等名 及び募集人員等 (令和6年度 志願倍率)	学力検査 等の区分・ 日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		入学定員 欠員時の 補充方法		
		教科	科目名等	教科等	科目名等			
美術科 日本画専攻 10人	後期 3月14日・ 17日・ 18日	国語 外国語 地理歴史 公民 ※1 数学 理科 ※2 情報	『国語』1科目 必須 『英語』ドイツ語『フランス語』『中国語』『韓国語』から1科目 必須 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『公共、倫理』『公共、政治・経済』『地理総合/歴史総合/公共』 『旧世界史A』『旧世界史B』『旧日本史A』『旧日本史B』『旧地理A』『旧地理B』 『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』 『旧数学I』『旧数学II』『旧数学A』『旧数学B』『旧数学C』 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』 『旧物理』『旧化学』『旧生物』『旧地学』 『情報I』『旧情報』 【3教科3科目】 から1科目選択	その他	実技試験	追加合格		
							美術科 油画専攻 25人	美術科 彫刻専攻 10人
							美術科 彫刻専攻 10人	美術科 彫刻専攻 10人
美術科 芸術学専攻 5人	後期 3月17日	国語 外国語 地理歴史	『国語』1科目 必須 『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』から1科目 必須 『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『旧世界史A』『旧世界史B』『旧日本史A』『旧日本史B』から1科目 必須	外国語 その他	英語 小論文 実技試験	追加合格		
							美術科 芸術学専攻 5人	
							美術科 芸術学専攻 5人	
デザイン・工芸科 デザイン専攻 17人	後期 3月16日・ 17日	国語 外国語 地理歴史 公民 ※1 数学 理科 ※2 情報	『国語』1科目 必須 『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』から1科目 必須 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『公共、倫理』『公共、政治・経済』『地理総合/歴史総合/公共』 『旧世界史A』『旧世界史B』『旧日本史A』『旧日本史B』『旧地理A』『旧地理B』 『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』 『旧数学I』『旧数学II』『旧数学A』『旧数学B』『旧数学C』 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』 『旧物理』『旧化学』『旧生物』『旧地学』 『情報I』『旧情報』 【3教科3科目】 から1科目選択	その他	実技試験	追加合格		
							デザイン・工芸科 デザイン専攻 17人	
							デザイン・工芸科 陶磁専攻 8人	デザイン・工芸科 陶磁専攻 8人
デザイン・工芸科 メディア映像専攻 8人	後期 3月14日・ 15日	国語 外国語 地理歴史 公民 ※1 数学 理科 ※2 情報	『国語』1科目 必須 『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』から1科目 必須 『歴史総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『公共、倫理』『公共、政治・経済』『地理総合/歴史総合/公共』 『旧世界史A』『旧世界史B』『旧日本史A』『旧日本史B』『旧地理A』『旧地理B』 『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』 『旧数学I』『旧数学II』『旧数学A』『旧数学B』『旧数学C』 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』 『旧物理』『旧化学』『旧生物』『旧地学』 『情報I』『旧情報』 【3教科3科目】 から1科目選択	その他	実技試験	追加合格		
							デザイン・工芸科 メディア映像専攻 8人	
							デザイン・工芸科 メディア映像専攻 8人	

※定められた教科・科目を受験しない者には、個別学力検査等の受験を認めませんので、十分注意してください。  
 ※旧教育課程履修者は旧教育課程による出題科目を選択することができません。新教育課程履修者が、旧教育課程による出題科目を選択解答することはできません。

令和7年度 一般選抜の実施教科・科目等について(音楽学部)

学部、学科等名 及び募集人員等 (令和6年度 志願倍率)	学力検査 等の区分・ 日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等	入学定員 欠員時の 補充方法
		教科	科目名等	教科等	科目名等		
音楽学 学部	後期 3月11日 12日 13日 15日	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』から1科目必須 『国語』 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『公共、倫理』『公共、政治・経済』『地理総合/歴史総合/公共』 『旧世界史A』『旧世界史B』『旧日本史A』『旧日本史B』『旧地理A』『旧地理B』 『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』 『数学I』『数学II』『旧数学A』『旧数学B、数学C』 『旧数学I』『旧数学II』『旧数学A』『旧数学B』『旧数学II』『旧数学A』『旧数学B』 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 『情報I』『旧情報』	その他	実技試験 口述試験 副科試験	配点は募集要項等で別途公表する。 大学入学共通テスト、個別学力検査及び調査書等により総合的に判定する。 大学入学共通テストの選択科目は、2教科2科目以上を受験した場合、得点の高いもの1教科1科目を選んで入学者選抜に用いる。 なお、国語については100点満点として換算する。英語についてはリーディングを160点満点(小点数第2位を四捨五入)に換算した点と、リスニングを40点満点(小点数第2位を四捨五入)に換算した点の合計を200点満点として利用する。	追加合格
		国語		外国語 (英、独、仏 から1科目 選択)	実技試験 副科試験		
	後期 3月12日 13日 15日	地理歴史 公民 ※1	【2教科2科目】 ※1『地理総合/歴史総合/公共』は、「地理総合」「歴史総合」「公共」のうち、いずれか2つを選択して解答すること ※2『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうち、いずれか2つを選択して解答すること	外国語 その他	実技試験 口述試験 副科試験	追加合格	
	数学	その他		実技試験 副科試験			
後期 3月11日 12日 13日 15日	理科 情報 ※2	【2教科2科目】 ※1『地理総合/歴史総合/公共』は、「地理総合」「歴史総合」「公共」のうち、いずれか2つを選択して解答すること ※2『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうち、いずれか2つを選択して解答すること	その他	実技試験 副科試験	追加合格		
後期 3月10日 11日 12日 13日 15日	音楽科 器楽専攻 (ピアノ)		その他	実技試験 副科試験			
後期 3月12日 13日 15日	音楽科 器楽専攻 (弦楽器)	【2教科2科目】 ※1『地理総合/歴史総合/公共』は、「地理総合」「歴史総合」「公共」のうち、いずれか2つを選択して解答すること ※2『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうち、いずれか2つを選択して解答すること	その他	実技試験 副科試験	追加合格		
後期 3月11日 13日 15日	音楽科 器楽専攻 (管打楽器)		その他	実技試験 副科試験			

※定められた教科・科目を受験していない者には、個別学力検査等の受験を認めませんので、十分注意してください。  
※旧教育課程履修者は旧教育課程による出題科目を選択することができます。新教育課程履修者が、旧教育課程による出題科目を選択解答することはできません。

(別紙3)

令和7年度 愛知県立芸術大学  
個別学力検査等（専攻別実技試験等）日程

出願期間：令和7年1月27日（月）～令和7年2月5日（水）締切日消印有効  
（ただし、日本国外から出願する場合は、締切日午後5時必着とします。）

美術学部試験日程及び試験科目

専攻別実技試験等は、次の表のとおりです。

学科	美術科				デザイン・工芸科		
専攻	日本画	油画	彫刻	芸術学	デザイン	陶磁	メディア映像
日程 年月日	後期						
令和7年 3月12日 (水)		第1次試験 素描					
3月13日 (木)							
3月14日 (金)	第1次試験 石膏素描		素描				描写
3月15日 (土)			塑造				発想構成
3月16日 (日)	第1次 合格発表	第1次 合格発表			描写		
3月17日 (月)	第2次試験 水彩画	第2次試験 油画又は 水彩画		英語 小論文 素描（鉛筆）	色彩構成又は 立体構成 (出願時ご選択)	描写	
3月18日 (火)						色彩表現	
3月21日 (金)	合格発表						



# 音楽学部試験日程及び試験科目

(別紙4)

専攻別実技試験等は、次の表のとおりです。

専攻 (コース)	作 曲		声 楽	器 楽		
	作 曲	音 楽 学		ピ ア ノ	弦 楽 器	管 打 楽 器
年月日	後		期			
令和7年 3月10日 (月)				第1次試験 課題曲		
3月11日 (火)	第1次試験 (1)和声課題		第1次試験 課題曲 自由曲 コールユーブンゲン	第1次試験 課題曲		第1次試験 課題曲 (注)
3月12日 (水)	専 攻 別 実 技 試 験	(2)器楽曲作曲 前半3時間 (ピアノなし) /後半4時間 (ピアノあり)	第1次試験 音楽学に関する 基礎的試験 論述  外国語(英,独, 仏から1科目)	第1次試験 課題曲 自由曲 コールユーブンゲン	第1次試験 課題曲 自由曲 〔ヴァイオリン〕 〔ヴィオラ〕	第1次合格発表
3月13日 (木)		(3)口述試験* (面接を含む) *試験で書いた 答案についての 質疑応答	第1次試験 口述	第1次試験 課題曲 自由曲 コールユーブンゲン	第1次試験 課題曲 自由曲 〔チェロ〕 〔コントラバス〕 〔ハープ〕	第2次試験 課題曲 (注)
3月14日 (金)		第1次合格発表	第1次合格発表	第1次合格発表	第1次合格発表	第1次合格発表
3月15日 (土)	副 科 試 験	聴音・新曲視唱 副科ピアノ 楽典	聴音・新曲視唱 副科ピアノ 楽典	聴音・新曲視唱 副科ピアノ 楽典	聴音・新曲視唱 副科ピアノ 楽典	聴音・新曲視唱 副科ピアノ 楽典
3月21日(金)	合 格 発 表					

(注) 管打楽器種類

フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット(バスーン)、サクソフォーン、  
ホルン、トランペット、トロンボーン、バストロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、  
パーカッション、マリンバ

## 令和7年度 愛知県立芸術大学美術学部 総合型選抜方法

実施学部・学科名	美術科：日本画専攻、彫刻専攻 デザイン・工芸科：デザイン専攻、陶磁専攻、メディア映像専攻			
募集人員	美術科：日本画専攻、彫刻専攻 若干名 デザイン・工芸科：デザイン専攻 8名 陶磁専攻、メディア映像専攻 2名			
出願資格	<p>日本画専攻、彫刻専攻、陶磁専攻、メディア映像専攻：次の(1)と(2)の両方に該当する者 デザイン専攻：令和7年3月31日現在において22歳以下で、次の(1)と(2)の両方に該当する者</p> <p>(1) 次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者</li> <li>② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者</li> <li>③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</li> <li>④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者</li> <li>⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者</li> <li>⑥ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）</li> <li>⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和7年3月31日までに合格見込みの者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの</li> <li>⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの</li> </ol> <p>注 出願資格⑧により出願しようとする者は、令和6年8月19日（月）までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。</p> <p>(2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者</p>			
出願期間	令和6年10月24日（木）～令和6年10月30日（水）締切日消印有効			
選抜期日 及び 選抜方法	日本画専攻	第1次選考		自己アピール資料、書類審査
		第2次選考	令和6年11月23日（土）	提出作品審査（平面作品）、面接
	彫刻専攻	第1次選考		自己アピール資料、書類審査
		第2次選考	令和6年11月23日（土）	小論文、面接
	デザイン専攻	第1次選考		自己アピール資料、書類審査
		第2次選考	令和6年11月23日（土） または 令和6年11月24日（日）	面接（作品審査を含む）
	陶磁専攻	第1次選考		自己アピール資料、書類審査
		第2次選考	令和6年11月23日（土）	実技試験（立体）、面接
	メディア映像専攻	第1次選考		自己アピール資料、書類審査
		第2次選考	令和6年11月23日（土）	実技試験（発想課題）、面接
合格発表日	第1次選考合格者発表 令和6年11月14日（木） 最終合格者発表 令和6年12月2日（月）			

## 令和7年度 愛知県立芸術大学美術学部 社会人特別選抜方法

実施学部・学科名	デザイン・工芸科：デザイン専攻		
募集人員	デザイン・工芸科：デザイン専攻 若干名		
出願資格	<p>令和7年3月31日現在において23歳以上に達し、社会人の経験（注1）を3年以上有する者で、次の各号のいずれかに該当する者としてします。</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者</p> <p>(3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(6) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）</p> <p>(7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和7年3月31日までに合格見込みの者</p> <p>(8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（注2）</p> <p>注1 社会人の経験：定時制、通信制及び夜間部以外の学校（大学を含む）の在学期間は社会人の経験期間に含めません。</p> <p>注2 出願資格(8)により出願しようとする者は、令和6年8月19日(月)までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。</p>		
出願期間	令和6年10月24日(木)～令和6年10月30日(水) 締切日消印有効		
選抜期日及び選抜方法	デザイン専攻	第1次選考	出願書類審査
		第2次選考	令和6年11月23日(土) 小論文、面接(作品審査を含む)
合格発表日	第1次選考合格者発表	令和6年11月14日(木)	
	最終合格者発表	令和6年12月2日(月)	

(別紙7)

令和7年度 愛知県立芸術大学音楽学部 学校推薦型選抜方法

実施学部・学科名	音楽科：作曲専攻(音楽学) 器楽専攻(弦楽器、管打楽器)				
募集人員	音楽科：作曲専攻(音楽学)、器楽専攻(管打楽器) 各専攻(コース)若干名 器楽専攻(弦楽器)3名				
出願資格	次の(1)、(2)、(3)、(4)の全てに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校又は中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年3月31日までに修了見込みの者 ③ 上記①②以外の学校を令和7年3月卒業見込みの者で、本学において、個別の入学資格審査により、高等学校等を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもので、令和7年3月31日までに18歳に達するもの 注 出願資格③により出願しようとする者は、令和6年8月19日(月)までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。 (2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者 (3) 出身学校長が責任をもって推薦できる者 各学校において推薦できる人数は、作曲専攻(音楽学)は1名までとします。器楽専攻(弦楽器)においては、ヴァイオリンで1名、それ以外(ヴィオラ・チェロ・コントラバス・ハープ)で1名まで、器楽専攻(管打楽器)においては、5名まで推薦できます。 (4) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者				
出願期間	令和6年10月24日(木)～令和6年10月30日(水) 締切日消印有効				
選抜期日 及び 選抜方法	作曲	音楽学	選考	令和6年11月23日(土) 11月24日(日)	音楽学の基礎的能力試験(英語力を試す出題を含む)、 音楽の基礎的能力試験、 口述試験、 提出書類(小論文を含む)
	器 楽	弦楽器	選考	令和6年11月23日(土) 11月24日(日)	実技、面接試験、初見視奏 音楽の基礎的能力試験、 提出書類
		管打楽器	書類選考		
	本選考			令和6年11月23日(土) 11月24日(日)	実技、面接試験、 音楽の基礎的能力試験
合格発表日	書類選考合格者発表 最終合格者発表		令和6年11月14日(木) 令和6年12月2日(月)		

## 令和7年度 愛知県立芸術大学音楽学部 総合型選抜方法

実施学部・学科名	音楽科：作曲専攻(作曲)、声楽専攻			
募集人員	音楽科：作曲専攻(作曲)若干名、声楽専攻4名			
出願資格	<p><b>作曲専攻(作曲)：</b>令和7年3月31日現在において<u>35歳以下</u>で、次の(1)と(2)の両方に該当する者</p> <p><b>声楽専攻：</b>次の(1)と(2)の両方に該当する者</p> <p>(1) 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者</p> <p>③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>⑤ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>⑥ 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号)</p> <p>⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び令和7年3月31日までに合格見込みの者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>注 出願資格⑧により出願しようとする者は、令和6年8月19日(月)までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。</p> <p>(2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者</p>			
出願期間	令和6年10月24日(木)～令和6年10月30日(水) 締切日消印有効			
選抜期日 及び 選抜方法	作曲専攻 (作曲)	書類選考		書類による審査 (提出作品を含む)
		本選考	令和6年11月23日(土)	器楽曲作曲、口述試験
	声楽	書類選考		書類による審査
		本選考	令和6年11月23日(土) 11月24日(日)	実技、面接試験、 音楽の基礎的能力試験
合格発表日	書類選考合格者発表		令和6年11月14日(木)	
	最終合格者発表		令和6年12月2日(月)	

愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 入試課

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114

TEL 0561-76-2603 (入試課直通)

MAIL [admission\\_pr@mail.aichi-fam-u.ac.jp](mailto:admission_pr@mail.aichi-fam-u.ac.jp)

愛知県立芸術大学ウェブサイト URL <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/admission/>

